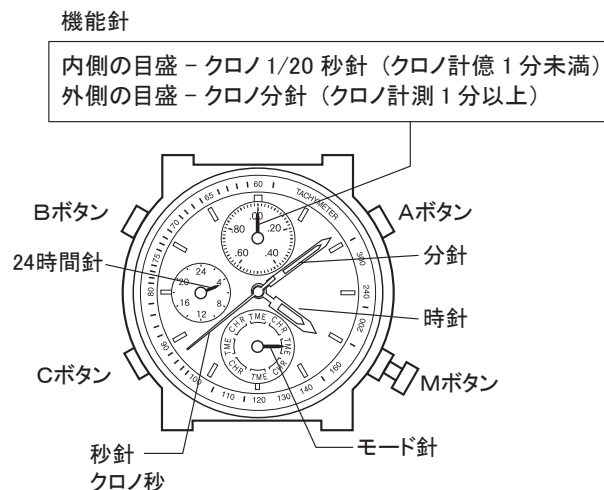


製品仕様

1. 水晶振動数…32.768Hz (Hz=1 秒間の振動数)
2. 時間精度……常温 (5℃～35℃) において
平均月差 ±20 秒以内
3. 変換器…2 極ステップモーター
4. 付加機能…クロノグラフ～分・秒・1/20 秒
最大計測可能：60 分
スプリットタイム計測
5. 使用電池……小型乾電池 1 個
電池番号 SR927W
電池寿命…約2年
条件……クロノグラフ 60 分 / 1 日 1 回
6. 使用 IC……C-MOS-LSI 1 個

各部の名称



モードの切換

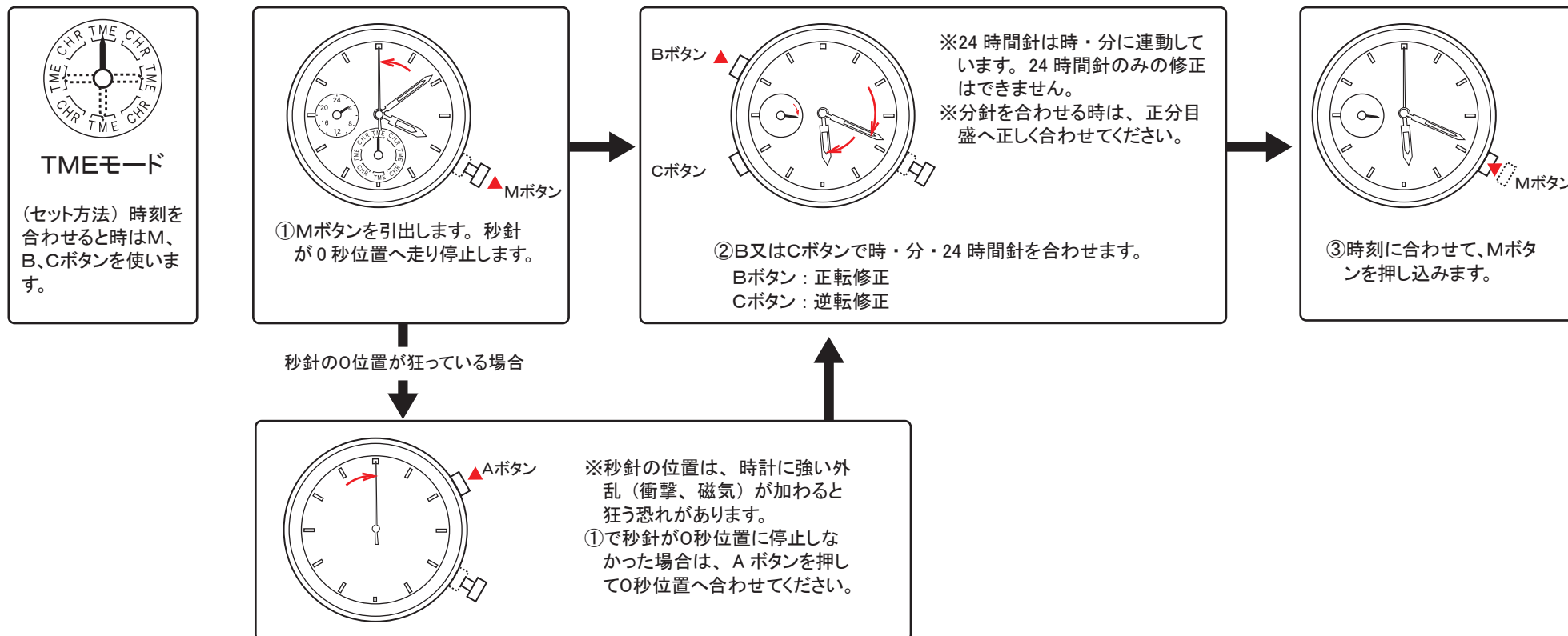
Mボタンを通常位置で押す事により、通常時刻モードとクロノモードを繰り返し切り替えることができます。

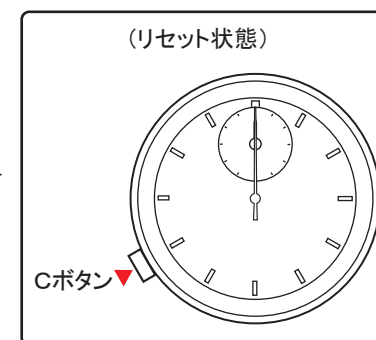
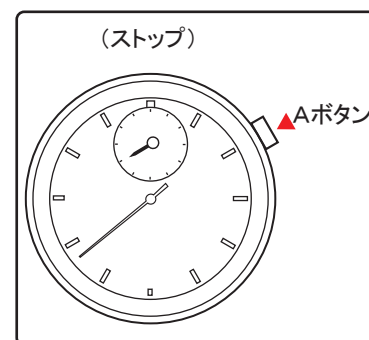
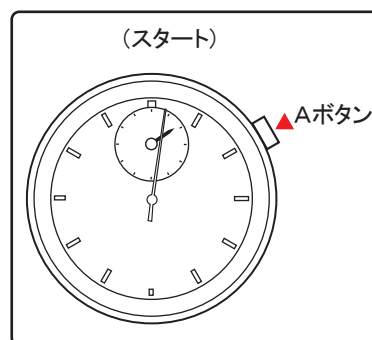
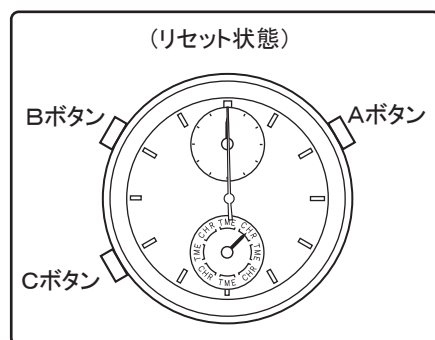
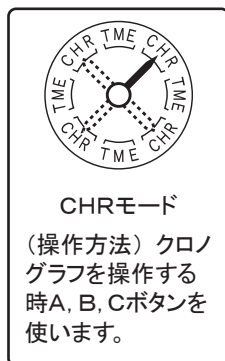


使用上の注意

Mボタンを気が付かない内に、押している場合があります。モード針の位置をしっかりと確かめて、適切なモードご使用ください。

時刻の合わせ方



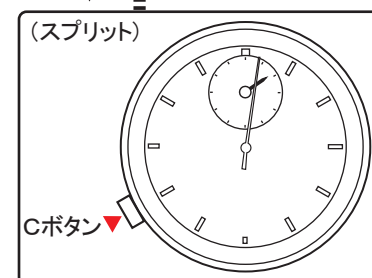


- ①Aボタンでスタート・ストップ
- ②Cボタンでスプリット / リセット
- ③クロノ計測が1分以上の時、Bボタン押し続けている間は：機能針は1/20 秒計測表示となります。Bボタンを離すと：機能針は分計測表示になります。

(注意)

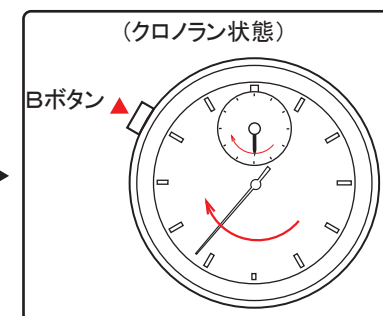
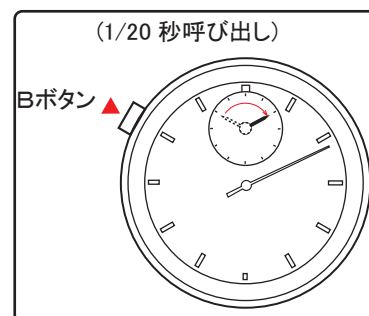
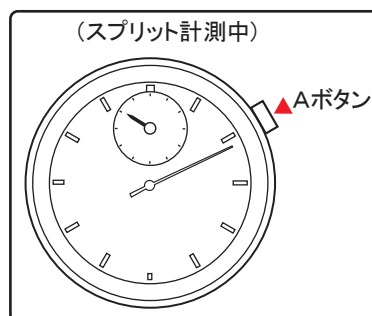
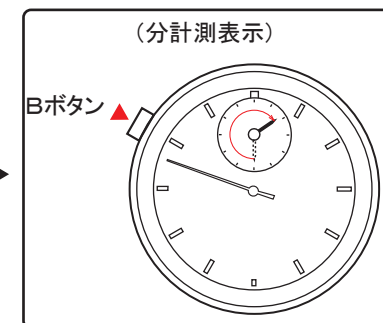
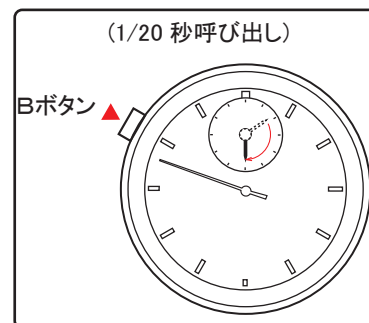
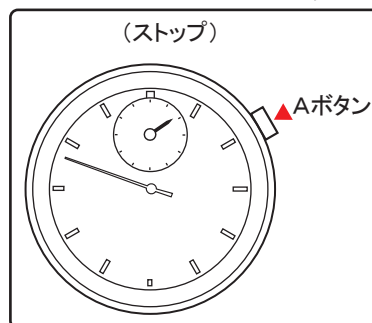
- a) スプリット表示は、10 秒間です。10 秒後はクロノラン状態に戻ります。
- b) 1/20 秒単位計測表示はスプリット表示中とクロノグラフストップ後（リセット前）に見ることができます。

※10 秒後
(オートリターン)

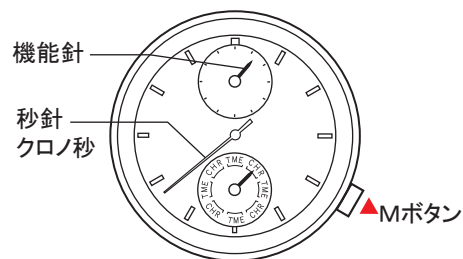


※オートリターン……スプリット表示状態のまま 10 秒間放置すると自動的に計測状態に戻ります。

クロノグラフの 1 分以上計測した場合の見方

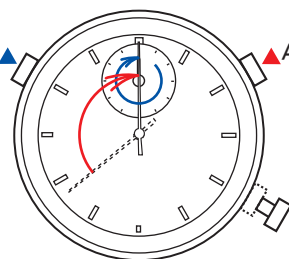


※クロノグラフ使用針（機能針・秒針）がきちんと0秒（真上）位置へリセットされない時は、次のように合わせます。

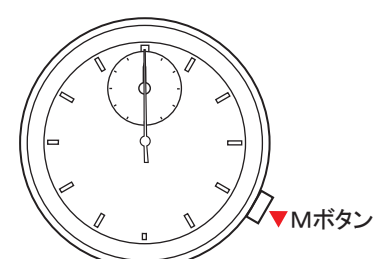


① Mボタンを引き出します。

Bボタン ▲ Aボタン ▲



② Aボタンで秒針を0秒位置へ合わせます。
③ Bボタンで機能針を0秒位置へ合わせます。



④ Mボタンを通常位置へ戻します。
※尚、Mボタンを引き出すと、クロノグラフがラン中であっても0秒位置と思われる場所へ針が走り停止します。

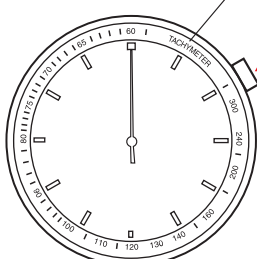
タキメーターについて

単位時間あたりの時速や出来高などを簡単に測定できます。

時速を測定する場合

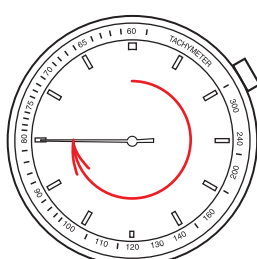
(スタート)

タキメーター ▲ Aボタン



(ストップ)

▲ Aボタン



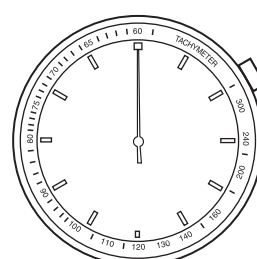
① 1 km 走るのに要した時間を計測します。
② 秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。

時速 80 km

1 時間あたりの出来高を求める場合

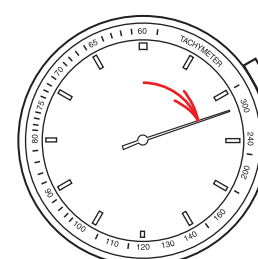
(スタート)

▲ Aボタン



(ストップ)

▲ Aボタン



① 製品 1 個が出来上がるのに要した時間を計測します。
② 秒針が指しているタキメーターの数字を読み取ります。

300 個 / 1 時間あたり

オールリセットについて（全てのモードから可能）

オールリセットは、電池交換後、あるいは時計が以上動作した時に行います。
オールリセットの仕方

- ① Mボタンを引き出します。
- ② A、B、Cボタンを3つ同時に2秒以上押して離します。（ボタンを離すと針は任意の位置に停止します。）
- ③ Mボタンを通常位置へ戻します。

（ポイント）

- a) 以上が終了したら「クロノモード」において機能針と秒針を0秒（真上）位置へ合わせます。
- b) 次に「タイムモード」において時刻合わせを行ってください。

